

仙台青葉学院大学 履修規程

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、仙台青葉学院大学学則（以下「学則」という。）第22条第4項、第24条第2項及び第37条第2項の規定により、授業科目の履修方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(授業科目等)

第2条 各授業科目の名称、単位数及び必修・選択の別等は、別表第一のとおりとする。

(単位の修得)

第3条 単位を修得するには、各授業科目所定の時間数を履修し、成績評価において合格の判定を受けなければならない。

(履修の登録)

第4条 履修する授業科目は、前期及び後期の所定の期日までに登録を行わなければならない。

- 2 登録を行わなかった授業科目は、履修することができない。
- 3 履修登録変更期間後の変更は認めない。

(履修登録の制限)

第5条 次に掲げる授業科目は、履修登録をすることができない。

- (1) 在学年次より上級年次に配当されている授業科目
- (2) 既に単位を修得した授業科目
- (3) 同一時限の重複する授業科目

2 履修登録の上限については、学則第22条第2項及び第3項の規定に基づき、別に定める。

(試験)

第6条 試験は、定期試験及び随時試験とする。

- 2 定期試験は、その授業の開講時期の末に期間を定めて行う。
- 3 随時試験は、規定の授業回数終了後、定期試験の期間以外に行う。
- 4 第1項の試験は、筆記試験、口述試験、実技試験、学修成果物による試験又は論文試験により、授業科目ごとに行う。
- 5 次の各号に該当する授業科目は、試験を受験することができない。
 - (1) 当該授業科目の履修登録をしていない場合
 - (2) 当該授業科目の一般欠席時間数が総時間数の3分の1を超える場合

- (3) 当該授業科目の一般欠席時間数と公認欠席時間数を合計した時間数が、総時間数の2分の1を超える場合

(成績評価等)

第7条 成績は、前条の試験のほか、授業時間内に行う臨時試験、課題レポート、発表、討論、成果物、態度等（以下「臨時試験等」という。）を勘案して評価する。

2 成績評価方法は、シラバスにあらかじめ示す。

3 成績評価は、下表のとおり、秀（AA）、優（A）、良（B）及び可（C）を合格とし、不可（D）、評価不能（E）を不合格とする。また、それぞれの成績評価に対してグレード・ポイント（以下「GP」という。）を付与する。

判定	成績評価	点数	GP
合格 (単位認定)	秀（AA）	90点以上	4
	優（A）	80点以上90点未満	3
	良（B）	70点以上80点未満	2
	可（C）	60点以上70点未満	1
不合格 (単位認定不可)	不可（D）	60点未満	0
	評価不能 (E)	(1)前条第5項に該当する科目 (2)資格取得に係る実習で、各学科が授業科目ごとに定める時間数を満たさない場合	0

なお、第9条の再試験で合格の場合の成績評価は、可（C）、GPは1ポイントとする。

4 履修登録した各授業科目の単位数に当該授業科目のGPを乗じた値を、履修登録した全授業科目について総計し、その値を履修登録した授業科目の総単位数で除して算出する平均値をグレード・ポイント・アベレージ（以下「GPA」という。）という。GPAの活用方法等については、別に定める。

5 成績評価及びGPAは、成績通知表をもって通知する。

(追試験)

第8条 次項第1号又は第2号に該当する事由で欠席した学生は、追試験願を提出することで追試験を行う。その他の事由により、試験を受験することができなかった学生に対しては、追試験の願い出を仙台青葉学院大学・仙台青葉学院短期大学教務委員会（以下「教務委員会」という。）で審議し、教授会に諮って、受験を認めた場合に限り追試験を行う。

2 前項の規定により、追試験の受験を希望する学生は、所定の期日までに追試験願を提出しなければならない。この場合、次に掲げるいずれかの欠席事由により、信憑書類を添付しなければならない。

(1) 傷病の場合

(2) 公認欠席規程第3条第2号、第4号から第6号までに該当する場合

(3) その他

3 追試験の実施日時は、担当教員が定める。

- 4 追試験は、当該受験許可が与えられた学生に対し、1回のみ実施する。
- 5 追試験における点数は、原則として試験に準ずる。

(再試験)

- 第9条 成績評価が不可(D)となった学生に対しては、担当教員が認めた科目に限り、再試験を行う。
- 2 試験を欠席し、前条の事由による追試験が認められなかった学生に対しては、教務委員会及び教授会が認めた場合に限り再試験受験を認める。
 - 3 当該受験許可が与えられた学生は、所定の期日までに1科目当たり2,000円の受験料とともに再試験願を提出しなければならない。
 - 4 再試験の実施日時は、担当教員が定める。
 - 5 再試験は、当該受験許可が与えられた学生に対し、原則として1回のみ実施する。
 - 6 再試験結果に基づいた成績評価は、取得した点数に関わらず60点(可(C))を上限とする。

(不正行為)

- 第10条 試験(追試験を含む。)において不正行為を行った学生に対しては、学則第43条により懲戒するほか、試験の受験及び成績の評価は、次のとおりとする。
- (1) 不正行為に係る受験科目の評価を不可(D)とし、再試験は認めない。
 - (2) 当該学期期間中に成績評価する授業科目の評価を全て不可(D)とし、再試験は認めない。
ただし、当該不正行為に係る科目以外の学外で実施される実習科目及びその実習指導に関する科目で、各学科で定めるものは除外する。
- 2 再試験における不正行為も前項に準じる。
 - 3 成績評価に係る臨時試験等において不正行為があった場合は、その都度教務委員会で審議する。
 - 4 前3項に規定するもののほか、試験において不正行為を行った学生に対する処分等について必要な事項は、別に定める。

(卒業)

- 第11条 学則第36条の定めのとおり、卒業するためには、修業年限以上在学し、所定の単位を修得しなければならない。
- 2 前項の卒業の時期は、学年末とする。ただし、卒業延期になった学生が前期に卒業に必要な単位を修得した場合は、学年末を待たず前期末(9月)の卒業を認める。

第2章 看護学部 看護学科

(授業科目等)

- 第12条 看護学科の学生は、第2条に規定する授業科目の単位を、必修科目115単位、教養科目の選択科目から5単位以上、専門基礎科目又は専門科目の選択科目(「疫学」、「保健情報論」、

「救急救命学」、「クリティカルケア看護学」、「リハビリテーション論」、「国際看護論」、「公衆衛生看護学概論」）から4単位以上修得しなければならない。

- 2 保健師国家試験受験資格を取得するには、前条及び前項の要件を満たすほか、専門基礎科目の選択科目から「疫学」、「保健情報論」、専門科目の「公衆衛生看護学」を含む135単位以上修得しなければならない。
- 3 養護教諭二種免許状を取得するには、前条及び前2項の要件を満たすほか、教養科目の選択科目から「日本国憲法」、「健康スポーツⅠ」、「健康スポーツⅡ」を修得しなければならない。

（履修要件）

第13条 次の授業科目を履修する学生は、当該各号の要件を満たしていなければならない。

- (1) 「基礎看護学実習Ⅱ」

「看護学概論」、「基礎看護技術Ⅰ」、「基礎看護技術Ⅱ」及び「基礎看護学実習Ⅰ」の単位を修得していること。また、「看護過程論」、「基礎看護技術Ⅲ」の単位を修得する見込みがあること。

- (2) 「地域・在宅看護学実習Ⅰ」

「地域・在宅看護学概論Ⅰ」の単位を修得する見込みがあること。

- (3) 「領域横断看護実習」

「看護過程展開方法」の単位を修得していること。

- (4) 「統合実習」

「医療安全管理論」、「看護管理論」の単位を修得していること。

- (5) 「公衆衛生看護学実習Ⅰ」

「疫学」、「保健情報論」、「公衆衛生看護学概論」の単位を全て修得し、保健師課程を選択の上、「公衆衛生看護学援助論Ⅰ」の単位を修得していること。

- (6) 「公衆衛生看護学実習Ⅱ」

1～3年次に配当されている必修科目（保健師課程の必修科目含む）の単位を全て修得し、「看護管理論」、「地域・在宅看護学実習Ⅱ」、「公衆衛生看護学援助方法」の単位を修得していること。

（進級）

第14条 在学年次に配当されている全ての必修科目の単位を修得した場合に、在学年次の1年次上の学年に進級することができる。

（留年）

第15条 在学年次に配当されている全ての必修科目の単位を修得できなかった場合は、留年となる。

第3章 リハビリテーション学部 リハビリテーション学科

（授業科目等）

第 16 条 リハビリテーション学科理学療法学専攻の学生は、第 2 条に規定する授業科目の単位を、必修科目 125 単位、教養科目の選択科目から 2 単位以上、専門科目の選択科目から 2 単位以上を修得しなければならない。

2 リハビリテーション学科作業療法学専攻の学生は、第 2 条に規定する授業科目の単位を、必修科目 125 単位、教養科目の選択科目から 2 単位以上、専門科目の選択科目から 2 単位以上を修得しなければならない。

(臨床実習の履修要件)

第 17 条 臨床実習の各科目を履修する学生は、原則として当該臨床実習科目より前に配当される必修科目の単位を、全て修得していなければならない。また、当該臨床実習科目と同時期に配当される必修科目の単位を、全て修得する見込みがなければならない。

(進級)

第 18 条 在学年次に配当されている全ての必修科目の単位を修得した場合に、在学年次の 1 年次上の学年に進級することができる。

(留年)

第 19 条 在学年次に配当されている全ての必修科目の単位を修得できなかった場合は、留年となる。

第 4 章 改正

(改正)

第20条 この規程の改正は、教務委員会の議を経て、運営協議会の承認を得、学長が決定する。

附 則

この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 7 年 10 月 1 日から施行する。

履修規程別表第一

(看護学部看護学科)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
教養科目	言語・情報系	日本語表現法	1				○	
		英語Ⅰ	1			○		
		英語Ⅱ	1				○	
		英語Ⅲ		1			○	
		情報処理Ⅰ	1				○	
		情報処理Ⅱ	1				○	
		ICT活用技術		1			○	
	人文科学系	哲学	1			○		
		生命倫理学	1			○		
		心理学	1			○		
		教育心理学		1		○		
		宗教と民族		1		○		
		人間関係論		1		○		
	社会科学系	法学入門	1			○		
		日本国憲法		2		○		
		経済と政策	1			○		
		教育学概論		1		○		
		社会学		1		○		
		社会保障論	1			○		
	自然科学系	物理学	1			○		
		生物学	1			○		
		自然環境と災害	1			○		
		統計学入門	1			○		
		健康スポーツⅠ		1		○		
		健康スポーツⅡ		1				○
	教養科目 計		15	11	0	—		
専門基礎科目	人体の構造と機能	人体構造と機能Ⅰ	2			○		
		人体構造と機能Ⅱ	2			○		
		人体構造と機能Ⅲ	2			○		
		生化学	1			○		
		微生物学	1			○		
		栄養学	1			○		
	疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	1			○		
		病態治療学Ⅰ	2			○		
		病態治療学Ⅱ	2			○		
		病態治療学Ⅲ	2			○		
		病態治療学Ⅳ	2			○		
		看護薬理学	2			○		
	健康支援と社会保障制度	公衆衛生学	1			○		
		疫学		1		○		
		保健情報論		2		○		
		保健医療福祉行政論	2			○		
		チームアプローチ入門	1				○	
	専門基礎科目 計		24	3	0	—		

(看護学部看護学科)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
専門科目	基礎看護学	看護学概論	2			○		
		看護倫理	1			○		
		看護過程論	2			○		
		基礎看護技術Ⅰ	1			○		
		基礎看護技術Ⅱ	2				○	
		基礎看護技術Ⅲ	1				○	
		基礎看護技術Ⅳ	2				○	
	地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論Ⅰ	1			○		
		地域・在宅看護学概論Ⅱ	1			○		
		地域・在宅看護学援助論	2			○		
		地域・在宅看護学援助方法	1				○	
		地域包括ケア論	1			○		
	成人看護学	成人看護学概論	1			○		
		成人看護学援助論	2			○		
		成人看護学援助方法	2				○	
	老年看護学	老年看護学概論	1			○		
		老年看護学援助論	2			○		
		老年看護学援助方法	1				○	
	小児看護学	小児看護学概論	1			○		
		小児看護学援助論	2			○		
		小児看護学援助方法	1				○	
	母性看護学	母性看護学概論	1			○		
		母性看護学援助論	2			○		
		母性看護学援助方法	1				○	
	精神看護学	精神看護学概論	1			○		
		精神看護学援助論	2			○		
		精神看護学援助方法	1				○	
	看護の基盤と応用	看護過程展開方法	1				○	
		家族支援論	1			○		
		救急救命学		2		○		
		クリティカルケア看護学		1		○		
		周術期看護論	2			○		
		リハビリテーション論		2		○		
		緩和ケア論	1			○		
	看護の統合と実践	医療安全管理論	1			○		
		災害看護論	2			○		
		看護管理論	1			○		
		国際看護論		1		○		
		スタートアップセミナー	1				○	
		キャリアデザインセミナー	1			○		
		看護研究Ⅰ	1			○		
		看護研究Ⅱ	1				○	
		看護学総合講義	2			○		
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1					○
		基礎看護学実習Ⅱ	2					○
		地域・在宅看護学実習Ⅰ	1					○
		地域・在宅看護学実習Ⅱ	1					○
		領域横断看護実習	3					○
		成人看護学実習	3					○
		老年看護学実習	3					○
		小児看護学実習	2					○
		母性看護学実習	2					○
		精神看護学実習	2					○
		統合実習	3					○
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論		1		○	
	公衆衛生看護学援助論Ⅰ			2		○		
	公衆衛生看護学援助論Ⅱ			2		○		
	公衆衛生看護学援助方法			1			○	
	公衆衛生看護管理論			2		○		
	公衆衛生看護学実習Ⅰ			1				○
	公衆衛生看護学実習Ⅱ			3				○
	専門科目 計		76	18	0	－		
総計		115	32	0	－			

履修規程別表第一

(リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法専攻)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
教養科目	言語・情報系	日本語表現法	1				○	
		英語Ⅰ	1			○		
		英語Ⅱ	1				○	
		英語Ⅲ		1			○	
		情報処理Ⅰ	1				○	
		情報処理Ⅱ	1				○	
		ICT活用技術		1			○	
	人文科学系	哲学	1			○		
		生命倫理学	1			○		
		心理学	1			○		
		教育心理学	1			○		
		宗教と民族		1		○		
		人間関係論	1			○		
	社会科学系	法学入門	1			○		
		日本国憲法		1		○		
		経済と政策	1			○		
		教育学概論	2			○		
		社会学		1		○		
		社会保障論		1		○		
	自然科学系	物理学	1			○		
		生物学	1			○		
		自然環境と災害	1			○		
		統計学入門	1			○		
		健康スポーツⅠ		1		○		
		健康スポーツⅡ		1				○
	教養科目 計		18	8	0	—		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	2			○		
		解剖学Ⅱ	2			○		
		解剖学演習	1				○	
		解剖学実習	1					○
		生理学Ⅰ	2			○		
		生理学Ⅱ	2			○		
		生理学実習	1					○
		運動学総論	1			○		
		運動学演習Ⅰ	1				○	
		運動学演習Ⅱ	1				○	
		運動学実習	1					○
		機能解剖学実習	1					○
		臨床運動学	2			○		
		人間発達学	1			○		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	薬理学	1			○		
		病理学	1			○		
		小児科学	1			○		
		老年学	1			○		
		内科学	2			○		
		神経学	2			○		
		整形外科学	2			○		
		精神医学	2			○		
		臨床心理学	1			○		
		栄養学	1			○		
		救急救命学	1			○		
		公衆衛生学	1			○		
		言語聴覚療法概論	1			○		
		臨床検査・画像診断学	1			○		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	2			○		
		チームアプローチ入門	1				○	
		保健医療福祉連携論	1				○	
	専門基礎科目 計		41	0	0	—		

(リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
専門科目	基礎理学療法学	理学療法学概論	2			○		
		トランスレーショナルセミナーⅠ	1				○	
		トランスレーショナルセミナーⅡ	1				○	
		トランスレーショナルセミナーⅢ	1				○	
		トランスレーショナルセミナーⅣ		1			○	
		理学療法研究法Ⅰ	1			○		
		理学療法研究法Ⅱ		2			○	
	理学療法管理学	理学療法管理学	2			○		
	理学療法評価学	理学療法評価学	1			○		
		基礎理学療法評価学実習	1					○
		運動器障害理学療法評価学実習	1					○
		神経障害理学療法評価学実習	1					○
		内部障害理学療法評価学演習	1				○	
		理学療法評価学総合実習	1					○
	理学療法治療学	運動器障害理学療法学	2			○		
		運動器障害理学療法学演習	2				○	
		神経障害理学療法学	2			○		
		神経障害理学療法学演習	2				○	
		高次脳機能障害学	1			○		
		内部障害理学療法学	2			○		
		内部障害理学療法学演習	2				○	
		神経筋疾患理学療法学	2			○		
		小児理学療法学	1			○		
		物理療法学	2			○		
		物理療法学演習	1				○	
		義肢装具学	2			○		
		義肢装具学演習	1				○	
		日常生活活動学	2			○		
		日常生活活動学実習	1					○
		予防理学療法学	2			○		
		スポーツ理学療法		2			○	
		疼痛理学療法		1		○		
		先端理学療法		1		○		
		臨床実習	臨床実習Ⅰ（体験実習）	1				
	臨床実習Ⅱ（評価実習）		4					○
	臨床実習Ⅲ（総合実習）		7					○
	臨床実習Ⅳ（総合実習）		7					○
	地域リハビリテーション実習		1					○
	地域理学療法学	地域理学療法学	1			○		
		地域理学療法学演習	1				○	
		生活環境論	1			○		
	特別演習	理学療法学総合演習Ⅰ	1				○	
		理学療法学総合演習Ⅱ	1				○	
	専門科目 計			66	7	0	－	
総計			125	15	0	－		

履修規程別表第一

(リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
教養科目	言語・情報系	日本語表現法	1				○	
		英語Ⅰ	1			○		
		英語Ⅱ	1				○	
		英語Ⅲ		1			○	
		情報処理Ⅰ	1				○	
		情報処理Ⅱ	1				○	
		ICT活用技術		1			○	
	人文科学系	哲学	1			○		
		生命倫理学	1			○		
		心理学	1			○		
		教育心理学	1			○		
		宗教と民族		1		○		
		人間関係論	1			○		
	社会科学系	法学入門	1			○		
		日本国憲法		1		○		
		経済と政策	1			○		
		教育学概論	2			○		
		社会学		1		○		
		社会保障論		1		○		
	自然科学系	物理学	1			○		
		生物学	1			○		
		自然環境と災害	1			○		
		統計学入門	1			○		
		健康スポーツⅠ		1		○		
		健康スポーツⅡ		1				○
	教養科目 計		18	8	0	—		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	2			○		
		解剖学Ⅱ	2			○		
		解剖学演習	1				○	
		解剖学実習	1					○
		生理学Ⅰ	2			○		
		生理学Ⅱ	2			○		
		生理学実習	1					○
		運動学総論	1			○		
		運動学演習Ⅰ	1				○	
		運動学演習Ⅱ	1				○	
		運動学実習	1					○
		機能解剖学実習	1					○
		臨床運動学	2			○		
		人間発達学	1			○		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	薬理学	1			○		
		病理学	1			○		
		小児科学	1			○		
		老年学	1			○		
		内科学	2			○		
		神経学	2			○		
		整形外科学	2			○		
		精神医学	2			○		
		精神医学演習	1				○	
		臨床心理学	1			○		
		栄養学	1			○		
		救急救命学	1			○		
		公衆衛生学	1			○		
		言語聴覚療法概論	1			○		
		臨床検査・画像診断学	1			○		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	2			○		
		チームアプローチ入門	1				○	
		保健医療福祉連携論	1				○	
	専門基礎科目 計		42	0	0	—		

(リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
専門科目	基礎作業療法学	作業療法学概論	1			○		
		基礎作業学	1			○		
		基礎作業学演習Ⅰ	1				○	
		基礎作業学演習Ⅱ		1			○	
		トランスレーショナルセミナーⅠ	1				○	
		トランスレーショナルセミナーⅡ	1				○	
		トランスレーショナルセミナーⅢ	1				○	
		トランスレーショナルセミナーⅣ		1			○	
		作業療法研究法Ⅰ	1			○		
	作業療法研究法Ⅱ		2			○		
	作業療法管理学	作業療法管理学	2			○		
	作業療法評価学	作業療法評価学	1			○		
		身体障害作業療法評価学演習Ⅰ	1				○	
		身体障害作業療法評価学演習Ⅱ	1				○	
		精神障害作業療法評価学演習	1				○	
		高次脳機能障害作業療法評価学演習	1				○	
	作業療法治療学	作業療法理論	2			○		
		身体障害作業療法学Ⅰ	2			○		
		身体障害作業療法学Ⅱ	2			○		
		身体障害作業療法学演習	2				○	
		精神障害作業療法学	2			○		
		精神障害作業療法学演習	1				○	
		高齢期作業療法学	1			○		
		高齢期作業療法学演習	1				○	
		発達障害作業療法学	1			○		
		高次脳機能障害作業療法学	1			○		
		日常生活活動学	2			○		
		義肢装具学	2			○		
		福祉レクリエーション論		1		○		
		先端作業療法		1		○		
	臨床実習	臨床実習Ⅰ（体験実習）	2					○
		臨床実習Ⅱ（評価実習）	5					○
		臨床実習Ⅲ（地域実習）	1					○
		臨床実習Ⅳ（総合実習）	9					○
		臨床実習Ⅴ（総合実習）	9					○
	地域作業療法学	地域生活支援論	1			○		
		地域作業療法学	1			○		
		職業リハビリテーション論Ⅰ	1			○		
		職業リハビリテーション論Ⅱ		1		○		
		生活環境論	1			○		
		福祉住環境論		1		○		
	特別演習	作業療法学総合演習Ⅰ	1				○	
		作業療法学総合演習Ⅱ	1				○	
	専門科目 計		65	8	0	－		
総計		125	16	0	－			